

つたえる・ひろげる・つくりだす 高山市制施行80周年

たかやま

広報

平成28年
(2016年)

5/15

第1254号 毎月1日・15日発行



中橋を渡る秋祭の布袋臺

市制施行80周年を記念し「高山祭屋臺からくり競演」が4月30日、高山陣屋前でありました。

祭屋臺に寄せる人々の思いが結集して実現したこの競演は、秋祭の布袋臺が中橋を渡り、春の屋臺と同じ場所でからくり競演するなど、市制施行以降初の歴史的なイベントになりました。

折しも4月19日には、高山市の「飛騨匠の技・こころ一木とともに、今に引き継ぐ1300年一」が日本遺産に認定。祭屋臺を支える匠の技と受け継がれる人々の思いは、高山だけでなく日本の宝となっています。

撮影：平成28年4月30日

ストーリー「飛驒匠の技・こころ — 木とともに、今に引き継ぐ1300年 —



JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産に認定

「飛驒匠の技・こころ—木とともに、今に引き継ぐ1300年—」

4月19日に開催された日本遺産審査委員会で、高山市の「飛驒匠の技・こころ—木とともに、今に引き継ぐ1300年—」が平成28年度の「日本遺産 (Japan Heritage)」に認定されました。「日本遺産 (Japan Heritage)」とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形のさまざまな文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

「飛驒匠^{ひだのたくみ}の技・こころ」は古代に木工技術者を都へ送ることで税に充てる全国唯一の制度で、飛驒の豊かな自然に育まれた「木を生かす」技術や感性と、実直な気質は古代から現代まで受け継がれ、高山の文化の基礎となっています。

市内には中世の社寺建築群や近世・近代の大工一門の作品群、伝統工芸など、現在もさまざまなところで飛驒匠の技とこころに触れることができます。

これは私たちが木と共に生きてきた1300年の高山の歴史を体感する物語です。



国指定重要有形民俗文化財
高山祭屋台の彫刻

■ストーリーを構成する要素

— 国府地域の近世以前の飛驒の社寺建築の流れを知るストーリー —

古代寺院跡の多い国府地域には、中世に遡る建造物も多く残されており、飛驒の社寺建築の流れを知ることができます。荒城神社本殿は明徳元年(1390)再建であり、阿多由太神社本殿は室町時代初期の建立、熊野神社本殿は室町時代後期の建立と伝わって



国宝安国寺経蔵



国指定重要文化財荒城神社本殿

います。いずれもサワラやヒノキ、スギを多く用いて作られています。現在では入手困難なほどの良材を使用しています。国宝安国寺経蔵は応永15年(1408)建立で、内部の輪蔵(回転書架で、一回転すると納入された經典をすべて読んだことになる)は、日本現存最古のものです。

高山城とゆかりの建築群

— 飛驒匠達が高山城と高山のまちづくりに励んだこころを偲ぶストーリー —

近世初期、天正16年(1588)

から慶長8年(1603)まで16年の年月をかけて飛驒匠たちが建てた高山城は「城郭の構え、およそ日本国中に五つともこれ無き見事なるよき城地」であったと、近世中期の地誌にも書かれた名城でした。城は元禄8年(1695)に取り壊されましたが、それ以前に高山城から移築された建物が東山の寺院群等の建物として残されており、それらを巡ることで今は無き名城高山城を偲び、商家町として発達する以前、城下町として出発したころの高山を感じ



高山城跡

近世・近代の匠達

一家系ごとに伝授されてきた作風を感じながら作品を巡り、匠の伝統と感性に触れるストーリー

ることができません。

神明神社絵馬殿は城内の月見平にあった月見殿、雲龍寺鐘楼門は黄雲閣を移築改修したものです。素玄寺本堂は三ノ丸の評議所を移築したもので、同じく城内から移築された法華寺本堂とともに書院造の面影を残すものです。また、高山陣屋内の御蔵も三ノ丸の米蔵を移築したものです。

これらの建物は比較的細い部材が使われていますが、簡素な中に優雅さと、通常の杜寺建築とは異なる力強さを感じさせます。これも飛騨匠の用材の見事さとセンスによるものです。



雲龍寺鐘楼門



国分寺三重塔

飛騨の杜寺建築の美しさの一つに、屋根の優美さがあります。飛騨の山々の形に似た美しさを見せる屋根の曲線は、親方から代々伝わる口伝を基に、棟梁の感性によつて形作られます。装飾で飾られても、全体を見るとすっきりと簡素に見えるのも、職人の技と感性によるものです。町人文化が発達した近世以降、製作者である職人に加え、発注者であり文化の主要な担い手である旦那衆、作品を評価する周囲の町人の三者の優れた感性によつて、高山では多くの名建築や工芸品が生まれてきました。

数ある職人の家系のうち、飛騨匠の祖・藤原宗安の直系



国指定重要文化財
吉島家住宅

とされるのが、江戸時代中期以降4代にわたり「水間相模守」を名乗り、優れた彫刻を特徴とした水間一門です。市内中心部には二代目による大雄寺山門や法華寺番神堂、三代目による東山白山神社拝殿、国分寺三重塔があります。また、周辺には東照宮本殿、願生寺本堂、福成寺本堂、円徳寺鐘楼など多くの作品があり、一門の作風を知ることができます。

水間相模は代々杜寺建築を多く造りましたが、その流れをくむ者の作品には、それ以外のものもあります。村山勘四郎(むらやま かんしゅう)訓繩(のりな)は彫刻に秀で、相模と共に高山祭屋台を作り、その子民次郎英繩(ひだの たかみせい)も多くの高山祭屋台を手がけています。西田伊三郎(にしだ いざぶろう)は木の美しさを最大限生かし、吹き抜けの梁組が特徴的な、近代民家の代表例である吉島家住宅を作りました。

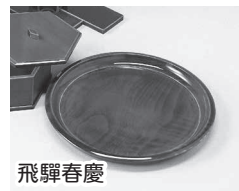
木を生かす伝統工芸

一位一刀彫、飛騨春慶などの作品を見て、技に触れることで木とともに生きる人々の姿を体感するストーリー

木の美しさを生かす技は、建

築以外にも発揮されました。400年前に高山で生まれた飛騨春慶は、江戸時代初期、打ち割った木の木目を生かすために透明な漆で益に仕上げたことに始まる漆器で、透明で木地の木目が見える漆を用いるため、素材の見立て、加工から漆塗まで全てにわたって高い技術が要求されます。宗猷寺には山中を移動しながら木地腕などを作った木地師の集団墓

地が残されています。



飛騨春慶

一位一刀彫は江戸時代後期、色彩を施さず、イチイの木が持つ木の美しさを生かした彫刻として完成されました。これらの伝統工芸の技術や木工技術の粋を結集して作られたのが高山祭屋台です。



一位一刀彫



高山祭屋台

問合せ先

文化財課
☎35-3156

Topic

「飛騨工制度」と匠の技・ころ

奈良時代に全国で唯一定められた「飛騨工制度」にはじまり、古代以来、万葉集、今昔物語集などにおいて実直な木工技術者として描写されてきました。

匠の技術は、木の性質を見極め、生かす技術です。正確な技術と木の美しさを生かした質素な美しさが特徴です。

山に囲まれ雪深い気候と、使える木の種類が多いという飛騨の山の特質が、匠の技を育み、派手さを嫌い、寡黙で実直な気質を生んでいます。

特集◆空家等対策

適正管理と活用促進に向けて

人口減少や少子高齢化、核家族化の進行などを背景に「空家」が増加傾向にあり、全国的な社会問題としてクローズアップされています。

適切に管理されない「空家」は劣化が進み、草木も伸び放題となるなど景観悪化を招くことに加え、火災や防犯などの面からも心配されます。

一方で、「空家」をまちの重要な財産と捉え、店舗や住宅として有効活用することなどにより、移住者の獲得や地域活性化に役立てることも期待されます。

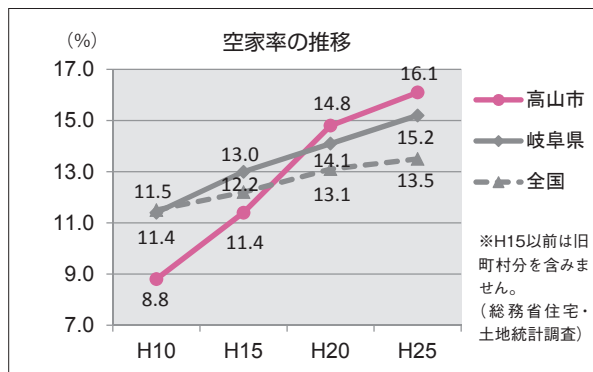
市では、昨年度施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法(空家特措法)」に基づき、「空家」所有者の責任ある対応を求めるなど、地域や関係団体との連携による個別の事例への対応を進めているところです。

今年度は、新たに全市的な「空家等調査」を実施したうえで、総合的な対策を推進するための施策を盛り込んだ「空家等対策計画」の策定に取り組んでいます。

身近な問題として、皆様のご理解とご協力をお願いします。

問合せ先 都市整備課 ☎35-3176
広報ID 1007295

右のグラフで示すとおり、空家率は急速に上昇しており、人口減少などに伴い、今後この傾向が続くと考えられます。



住宅・土地統計調査の推計値によると、平成25年の市内の空家数は約6千戸(空家率16.1%)を数え、全国平均や県内平均の値を上回っています。

▼空家率の推移

▼「空家等」とは

「空家特措法」の定義では、日頃から(概ね1年間)居住その他の使用がなされていない建物、附属する工作物、立木等を含む敷地を指し、対策の対象とします。

▼空家等が及ぼす悪影響

空家等の管理が適正になされない場合、倒壊や景観の悪化、衛生上の問題、防災・防犯など、周辺の生活環境へさまざまな悪影響を及ぼす恐れがあります。また、そのような空家等の増加はまち全体の価値を低下させ、地域活力の低下を招きかねません。

空家等の所有者や管理者は、第三者に危害を与え、損害賠償責任を問われる場合があることから、適正な維持管理に努めなければなりません。管理不全などが著しいとして「特定空家等」と市が認定した場合、勧告や命令など「空家特措法」に基づく措置を講ずる場合があります。

▼「空家等対策計画」の策定

市では今年度、適正管理と活用促進の両面から総合的な対策を進めるための「空家等対策計画」の策定に向け、取り組みを進めています。

実効性の高い計画とするためには、あらかじめ市内における空家等の所在や状態などを把握する必要があります。次のとおり「空家等調査」を実施します。

①机上調査

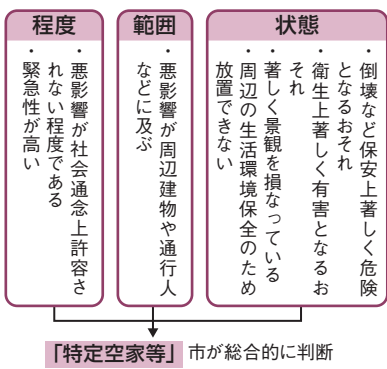
地域で把握している空家情報や、水道の閉栓状況などの情報を整理し、空家候補を抽出します。

②現地調査

市職員または市が委託した調査員(身分証を携帯)が空家候補の建物を直接訪問し、外観等の調査を行います。

③アンケート調査

空家候補の建物所有者等に対し、利用状況や活用の意向などを伺う郵送によるアンケート調査を実施します。



※「特定空家等」として勧告を受けた場合は、固定資産税の住宅用地特例(1/6軽減等)が除外されます。

Pick up 空家等調査
「空家特措法」に基づき実施する調査で、同法において空家所有者等の特定のため、固定資産税情報などを活用できると定められています。

「高山市空家等対策協議会」を設置しました

「空家等対策計画」の策定や計画に基づく対策の実施などについて協議するための、協議会を設置しました。

市の関係課、飛騨建築事務所、警察のほか、建築、不動産、法務、福祉、住民、歴史文化、商工、まちづくり、防犯などの各分野からの代表者に参画をいただきました。

議論の内容等は、今後市ホームページ等で紹介していきます。



5月9日開催の協議会

▼空家等に関する相談窓口

空家等の問題で何か困っている市民の方、活用や管理の委託などを考えている空家所有者の方などがありましたら、都市整備課までご相談ください。庁内の関係課や関係団体との連携により解決に向けて取り組みます。

また、「空家等調査」の実施や「空家等対策計画」の策定、空家の活用促進策など、市の空家等対策の取り組みへのご意見などもお待ちしています。

まちの重要な課題として、一緒に考えてみませんか。

問合せ先

都市整備課
☎ 35-33176

▼空き家・住まい総合相談室

岐阜県の委託を受けた「岐阜県住宅供給公社」の設置する空家の所有者、空家への入居希望者を対象とした総合相談窓口です（近隣住民などからの相談は、市が窓口となります）。

空家の活用（売買や賃貸）をはじめ、維持管理、リフォーム、解体などさまざまな相談に対し、専門家が対応しています。

場所：大垣市今宿6-52-18
「ワークショップ24」6F

毎週火・金曜日午後1時～4時

※電話による事前予約制

予約受付：平日午前9時～午後

5時

☎ 0584-81-8511

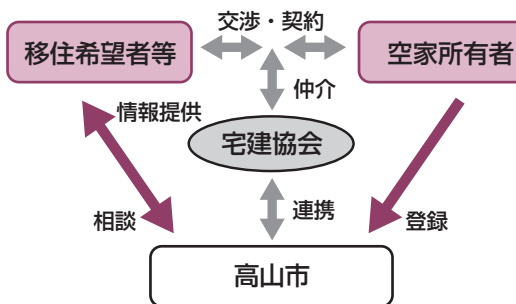
空家等活用に向けた支援制度のご紹介

現在、市では次の支援などを行い、空家等の活用を図っています。

▼空き家紹介制度

売却や賃貸を希望する市内の空家所有者の登録情報を市のホームページなどで紹介することにより、住まいを探している移住希望者などに情報提供を行う制度です。

【空き家紹介制度のイメージ】



▼飛騨高山ふるさと暮らし・移住促進事業補助金

飛騨地域以外からの移住者が、二戸建て空家を賃貸または取得、改修する場合、その費用の一部を助成する制度です。

○賃貸料に対する助成

月額家賃の1/3以内の額（上限1万5千円、3年限り）

○取得、改修費に対する助成

※土地購入費を除く
費用の1/2以内の額（上限100万円）

問合せ先

ブランド戦略課
☎ 35-33001

▼多世代同居促進事業補助金

新たに3世代以上で同居するために空家を取得、改修する場合、その費用の一部を助成する制度です。

※空家に限らず、新築や増改築も対象となります。

※児童の年齢や従前の居住地など一定の要件があります。

○取得、改修等に要する費用の1/2以内の額（上限100万円）

問合せ先

子育て支援課
☎ 35-33140

▼まちなか定住促進事業補助金

中心市街地活性化区域以外からの移住者が、区域内で空家を取得、改修する場合、その費用の一部を助成する制度です。

※空家に限らず、新築も対象となります。

○取得、改修等に要する費用の1/2以内の額

（市外からの移住者の場合上限150万円、市内の転居者の場合上限100万円）

▼中心市街地活性化事業補助金

中心市街地活性化区域内で空き店舗を借上げ、事業を営もうとする場合、賃貸または改修費用の一部を助成する制度です。

○賃貸料に対する助成

月額家賃の1/3以内の額（上限年80万円、店舗面積1㎡あたり1,500円以内、3年限り）

○改修費に対する助成

※実演、体験スペースの整備、バリアフリー改修など
費用の1/3以内の額（上限45万円）

問合せ先

（まちづくり）飛騨高山
☎ 57-8765

住まいの安全対策を支援します

耐震補助制度の受付開始

広報ID 1004132

■木造住宅耐震補強工事に最大で180万円を助成

一定の要件に該当する木造住宅の耐震補強工事について、最大で180万円まで助成しています。また、耐震基準7割以上の耐震補強工事も助成対象としています。

助成要件

- ・岐阜県木造住宅耐震相談士の耐震診断の結果、耐震補強が必要な木造住宅（昭和56年5月31日以前に建築）であるもの
- ・市税の滞納がない方
- ・所定の強度が確保できる計画であるもの
- ・岐阜県木造住宅耐震相談士が

設計・監理を行うもの

・おおむね年内に工事が完了するもの

助成額 最大180万円（助成率10/10）耐震基準7割以上

の場合は最大120万円

申込期間 10月下旬まで（予定）

申込方法 岐阜県木造住宅耐震相談士への設計依頼など、手続きには準備が必要です。詳しくはお問い合わせください。

■伝統構法木造建築物の耐震助成

昭和25年以前に石場建てなど伝統的な構法で建築された木造建築物の耐震診断や耐震補強工事について助成します。

市の伝統構法木造建築物耐震化マニュアル講習会を受講された建築士による診断が必要となります。

助成要件

- ・昭和25年11月23日以前に建築された伝統構法木造建築物を所有している方
- ・市税の滞納がない方

助成額 耐震診断は最大30万円（助成率10/10）

耐震補強工事は最大180万円（助成率10/10）

申込期間 10月下旬まで（予定）

申込方法 所定の申込書での手続きが必要です。詳しくはお問い合わせください。

アスベスト含有調査・除去工事に助成

広報ID 1003974

アスベスト（石綿）が使用されている建築物について含有調査や除去工事に助成しています。

■アスベスト含有調査助成要件

- ・吹き付け建材にアスベストが含有されているおそれがある建築物
- ・建築物石綿含有建材調査者が調査するもの
- ・おおむね年内に調査が完了するもの
- ・対象建築物の所有者または管

理者で市税の滞納がない方

助成額 最大25万円（助成率10/10）

申込期間 12月初旬まで（予定）

■アスベスト除去等工事助成要件

- ・アスベスト含有調査の結果、吹き付け建材にアスベストが含有されていた建築物
- ・建設技術審査証明による工法または、同等以上の工法によるもの
- ・建築物石綿含有建材調査者が

申込期間 10月下旬まで（予定）

・対象建築物の所有者または管理理者で市税の滞納がない方

助成額 最大200万円（補助率2/3）

申込先 都市整備課 ☎35-3159

木造住宅無料耐震診断を実施しています

市では、昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての木造住宅を市内に所有されている方を対象に、無料で耐震診断を行う事業を実施しています。診断は岐阜県木造住宅耐震相談士がお伺いします。

【対象要件】

- ・昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての木造住宅を市内に所有されている方
- ※木造以外の構造部分がある場合はご相談ください。
- ・市税の滞納がない方

【申込方法】

所定の申請書での手続きが必要です。詳しくはお問い合わせください。※診断は決定のお知らせが届いてからとなります。

申込先 都市整備課 ☎35-3159 問合先 1000267

新火葬場候補地を再選考へ

市では、平成27年12月に、新火葬場最終候補地について、今後「最終候補地を現在のままとするか、変更するかも含め、市議会や市民の意見を聴きながら進める」ことを報告しました。

市民の皆様からのご意見等を参考に、新たな方針を4月の市議会総務厚生委員会に協議した結果、「アルプス展望公園スカイパークの一部（西側部分）」を最終候補地としていたことを取り下げ、有識者および市民等で構成する新たな組織を設置し、新たに候補地を選考することとしました。

※新組織の構成・権限、選考プロセスなどの具体的な内容は、市議会とも協議のうえで、今後決定していきます。

問合先 市民課 ☎35-30003 広報ID 10014004

景観に配慮した板塀や看板、生けがきの設置に助成します

美しい景観の創出に寄与する高山の景観にふさわしい板塀や看板、生けがきの設置費用を助成します。

板塀の場合

助成要件

- ・景観重点区域内で行う塀など（板塀・塗塀・土塀・板壁・板化粧）の新設や改修
- ・公衆用道路または河川に面した部分および当該道路または河川から眺めることができる部分に設置するもの
- ・市の景観にふさわしいもの
- ・おおむね高さ0.9m以上、長さ1.8m以上のもの
- ・5年以上存続できるもの
- ・建築基準法や市の条例などに適合するものほか

助成額

- ・1.8mあたり5万円、1カ所あたり最大30万円（助成率1/3）
- ※市街地景観保存区域内については1.8mあたり10万円、1カ所あたり最大60万円（助成率2/3）になります。

広報ID 100036969

看板の場合

助成要件

- ・高山の景観にふさわしい看板の設置、またはふさわしくない看板の撤去

助成額

- ・1カ所あたり最大18万円（助成率1/3）
- ※中心市街地内については最大36万円（助成率2/3）になります。
- 平成28年度より限度額を増額しました。ぜひご活用ください。

広報ID 100036969

生けがきなどの場合

助成要件

- ◆生けがき
 - ・都市計画区域内で公衆用道路に面した部分および当該道路から眺めることができる部分に設置するもの
 - ・植栽する樹木が、おおむね高さ0.5m以上、幅0.2m以上のもので、生けがきの長さが5m以上のもの
 - ・5年以上活用できるもの
 - ・植栽する樹木はカイズカイブキ以外の樹種であること

◆高木

- ・都市計画区域内の工場や駐車場、共同住宅などの敷地内で、公衆用道路に面する部分に植栽する高木
- ・おおむね高さ3m以上のもの
- ・5年以上活用できるもの
- ・植栽する樹木はカイズカイブキ以外の樹種であること

◆助成額

- ◆生けがき
 - ・1カ所あたり最大9万円（助成率1/3）
- ◆高木
 - ・1本あたり最大1万8千円（助成率1/3）

※市街地景観保存区域内については1カ所あたり最大18万円（助成率2/3）になります。

広報ID 100036969

申込 都市整備課
問合せ ☎35-3159



美しい景観の創出を支援します

お気軽にお問い合わせください

住宅の耐震改修工事などを行う場合、住宅の固定資産税が減額される制度があります

住宅の耐震改修工事や省エネ改修工事、バリアフリー改修工事を行った場合、住宅の固定資産税が減額される制度があります。

共通事項 工事費用が50万円を超えるもの（バリアフリー改修、省エネ改修の場合は補助金等を差し引いた自己負担額が50万円を超えるもの）

申込方法 工事終了後、3カ月以内に税務課（本庁2階）へ申請してください。

■耐震改修の場合

- ・昭和57年1月1日以前から所在する住宅
- ※住宅には併用住宅・併用住宅（居住面積の割合が1/2以上）を含む
- ・平成30年3月31日までに耐震改修工事を完了した住宅

■省エネ改修工事の場合

- ・平成20年1月1日以前から所在する住宅（貸家を除く）
- ※住宅には併用住宅・区分

所有家屋の専有部分を含む（居住床面積の割合が1/2以上）

・平成30年3月31日までに一定の省エネ改修工事が完了した住宅

■バリアフリー改修の場合

- ・新築された日から10年以上経過した住宅（貸家を除く）
- ※住宅には併用住宅・区分所有家屋の専有部分を含む（居住床面積の割合が1/2以上）
- ・平成30年3月31日までにバリアフリー改修が完了した住宅
- ・改修後の住宅の床面積が50㎡以上のもの

居住者の要件

- 次のいずれかの方が居住していること
- ・65歳以上の方
- ・介護保険において、要介護認定・要支援認定を受けている方
- ・障がい者の方

申込・問合せ先 広報ID

税務課 ☎35-3627

耐震改修1000412 / 省エネ改修1000413 / バリアフリー改修1000411

ふるさと納税で いただいた寄附金を活用します

飛驒高山を応援いただく全国の皆様から寄せられたふるさと納税。

市では、皆様からいただいた寄附金を「飛驒高山ふるさと基金」に積み立てた後、市が同額を拠出して2倍の額を取り崩し、各種事業に活用することにより、寄附者と市、市民が一体となったまちづくりを進めています。平成28年度は、次の事業に活かします。

●皆様からいただいた寄附金
平成27年1月～12月
5,964件 1億5,387万円

●取り崩して各事業に活用する
飛驒高山ふるさと基金
3億774万円

旧メニュー（平成27年1月～3月までにいただいた寄附金を活用する事業）

※事業費のうち、カッコ内の金額は、ふるさと基金取り崩し額です。

メニュー1 高山祭と古い町並（ふるさと伝統応援）

市街地景観保存区域建造物の修景等に対する助成
事業費50万円（21万4,000円）

メニュー2 緑豊かな農山村景観（ふるさと原風景応援）

美しいふるさとの景観保全活動団体等の認証
事業費27万円（9万円）

メニュー3 飛驒牛と匠の技（ふるさとブランド応援）

飛驒高山ブランド戦略会議の開催
事業費38万円（27万円）

メニュー4 人情あふれる飛驒人のやさしさ（ふるさとふれあい応援）

外国人観光客受入体制の充実のためのボランティア通訳ガイドの養成
事業費123万円（2万4,000円）

新メニュー（平成27年4月～12月までにいただいた寄附金を活用する事業）

※事業費のうち、カッコ内の金額は、ふるさと基金取り崩し額です。

メニュー1 ふるさと高山まるごと応援

各地区のまちづくり協議会の取り組みに対する活動支援や移住者の家賃、空き家の購入改修に対する助成ほか
事業費2億8,587万円
（1億3,314万円）



メニュー2 ふるさと飛驒高山ブランド応援～観光・産業～



飛驒高山フェアの開催、飛驒高山ブランドのPR映像制作、新商品開発などブランド展開に対する助成、芸妓育成に対する助成ほか
事業費1億1,480万円
（4,664万円）

メニュー3 ふるさとの伝統文化応援～伝統・文化・教育～

伝統工芸品産業後継者育成に対する支援、第2回飛驒高山文化芸術祭こだま～れ2016の開催、高山祭屋台の保存修理ほか
事業費1億3,152万円（4,022万円）



メニュー4 ふるさとのたいせつな自然応援～自然・景観・環境～

ペレットストーブ等の購入助成、地域団体等の自然エネルギー活用に対する支援、乗鞍山麓五色ヶ原の森の管理運営や新規ルートの開設準備ほか
事業費3億5,398万1,000円（5,519万4,000円）



メニュー5 ふるさとのあたたかい暮らし応援～福祉・保健～

福祉サービス総合相談支援センターの運営、公共交通機関利用が困難な高齢者等の移送車両による送迎、一般不妊治療費や特定不妊治療費の助成、地域医療体制の確保・充実を図るための医師確保ほか
事業費1億9,240万円（3,194万8,000円）



問合せ先 財政課 ☎35-3132

ふるさと納税をかたった詐欺にご注意ください
市では、電話などで振込先をお伝えして送金をお願いすることはありません

みんなが主役のまちづくり 町内会

— 35分以内 —

町内会

困ったときに頼りになるのが身近な町内会です。町内会では、地域の安全・安心に向けた活動や環境美化活動、親睦交流活動および行政からの情報の伝達などを行っています。少子高齢化や、社会経済の情勢が変化する中で、暮らしを支える基盤的な組織として町内会は重要な役割を担っています。

あなたも町内会に加入して、安全で安心な暮らしを送るとともに、地域社会の一員として地域活動に参画しましょう。新しい人との出会いや人とのつながりが、いざという時にあなたを助けてくれます。

問合せ先
町内会連絡協議会事務局
(市民活動推進課内)
☎35-3412

町内会では、こんな活動を行っています

地域安全活動

安全で安心なまちづくりのため、危険箇所の点検や見守り活動などによる子どもや高齢者の交通事故の防止、防犯灯の設置や維持管理などを行っています。

自主防災活動

突然起きる地震や水害などの災害に備え、自主防災組織などによる防災訓練や避難訓練の実施、消防団活動への支援などを行っています。

地域福祉・青少年育成活動

いつまでも元気で暮らすための健康教室や独居高齢者世帯の見守り活動、児童遊園地の設置や管理、子ども会活動への支援、地域の学校等の活動への協力などを行っています。

環境美化活動

きれいで快適なまちづくりのため、ごみステーションの維持管理や道路・河川・公園などの美化活動、花壇の設置や管理などを行っています。

レクリエーション活動

住民同士の親睦を深めるため、スポーツ大会や盆踊り、さまざまな教養講座、また地域活動の拠点となる町内会集会所施設の維持管理などを行っています。

地域情報の提供・町内情報の発信活動

地域でのイベント情報や行政機関などからの重要なお知らせなどを回覧しています。また、町内の課題などを、まちづくり協議会等と連携して行政機関に発信しています。

町内会へのご加入は、お近くの班長や町内会長にお気軽にお申込みください。

平成27年度町内会長のみなさまへ

平成27年度中は「町内会の連携意識を高め明るく健康で住みよいまちづくり」をスローガンとして、町内会の連携強化と活発な地域づくりの中心的存在として活躍されたことに敬意を表するとともに、市民と行政の架け橋としての役割も果たしていただきましたことに深く感謝申し上げます。

平成28年度 高山市町内会連絡協議会役員

4月18日に開催された高山市町内会連絡協議会の総会において、次のとおり今年度の役員が決まりました。役員の方々は、協議会が取り組む活動の決定や、行政機関との連絡調整を行います。

(敬称略)

会 長 長谷川 昭久(南)

副会長 中谷 省悟(清見)

山崎 達男(久々野)

上田 修(上宝)

議長 田口 一清(国府)

副議長 川原 正巳(新宮)

会計 溝上 久三(三枝)

書記 笠原 進(丹生川)

理事 谷中 幸和(東)

大澤 正孝(西)

瀬上 直樹(北)

高野 喜代行(山王)

尾崎 和廣(江名子)

瀧根 清司(岩滝)

野村 末男(莊川)

日比野 法夫(一之宮)

林 順一(朝日)

鈴木 孝美(高根)

福岡 道夫

(奥飛驒温泉郷)

監 査 都竹 俊之助(大八)

村瀬 祐治(花里)

問合せ先
町内会連絡協議会事務局
(市民活動推進課内)
☎35-3412

次のページで全町内会長を紹介いたします。

飛まわり会「シルバー料理教室」参加者募集(市内在住60歳以上の方)

(日時) 6月1日(水) 午前10時~午後1時(場所) 市保健センター(申込方法) 5月25日(水) までにTEL (健康推進課☎35-3160)

(平成28年4月18日現在)

○: 地区代表

町内会連絡協議会事務局
(市民活動推進課内)
☎35-3412

地区	役職	町内会名	氏名
丹生川		山口	加藤 智雄
		町方	大平 茂
		新張	増谷 龍介
		下保	岩腰 克久
		細越	坂下 勝彦
		桐山	平田 厚
		大萱	栃洞 功司
		折敷地	山下 秀幸
		三之瀬	西村 徳和
		呂瀬金山	中野 孝弘
	ひろ野	河瀬 裕幸	
	○	笠原 進	
清見		三日町	井口 直樹
		牧ヶ洞	徳野 昌明
		藤瀬	松嶋 秀雄
		福寄	川畑 晴彦
		三ツ谷	新家 秀樹
		坂下	荒木 順吉
		巢野俣	廣田 令磨
		檜谷	伊香 賢治
		大原	小谷 秋藏
		上小鳥	上坪 庄一
		夏厩	砂田 寛隆
		二本木	間瀬戸良忠
		池本	野中 一志
		○	中谷 省悟
荘川		六厩	小瀬 和人
		三谷	坂上 剛
		三尾河	金井 一雄
		寺河戸	橋 詰 彰
		黒谷	三島 逸夫
		惣則	鈴木 勇吉
		一色	鈴木 啓二
		猿丸	高田 満浩
		新測	高橋 昇
		町屋	橋本 正樹
		上野々俣	山下 龍美
		下野々俣	長田 勝美
		中畑	村上 秋夫
		牧戸	寺田 俊明
		牛丸	北野 進
		岩瀬	毛受 重隆
		○	野村 末男
一之宮		位山	黒木 正人
		中央	富田 亨
		山下	御母衣武藏
		本通	安藤 順一
		東	川原 則夫
		一之宮	小瀬 増男
		○	日比野法夫

地区	役職	町内会名	氏名
久々野		橋場	倉本 好朗
		中組	高田 悟
		上組	桐山 靖博
		西洞	早川 重幸
		反保	井戸端清司
		坂屋	白田 和法
		山梨	平田 甚吉
		久須母	榎 純 吉
		引下	東 誠
		小坊	東 秀 策
		大西	田口 孫久
		小屋名	谷口 法夫
		柳島	岩佐 俊介
		大坊	坂下 貞志
		木賊洞	元垣内幸雄
		長淀	中垣内亮太
	朝日		渚
		片籠	大畑 一男
		阿多粕	下會所秀比巳
		○	山崎 達男
		見座	足立 直樹
		小瀬	田立 太
		立岩	武藤 章夫
		小谷	森下 淳一
		甲	長瀬 卯一
		万石	池畑 孝文
		上ヶ見	山上 敏幸
		下青屋	小林 收
		上青屋	古本 武彦
		寺澤	石原 力
		浅井	長瀬万寿夫
		寺附	沼本 英男
高根			大廣
		黒川	森下伊佐男
		一之宿	森本 昭一
		西洞	松林 正
		宮之前	新井 清和
		桑之島	一本木國昭
		胡桃島	田中 康行
		○	林 順一
		中洞	下林 憲一
		中之宿	田中 五郎
		猪之鼻	坂下 忠吉
		○	上ヶ洞 鈴木 孝美
		池ヶ洞	池本 勝
		黍生	小林今朝雄
		阿多野郷	森本喜久男
		野麦	中谷 敬治
		日和田	中田直太郎
	小日和田	中田 昭治	

地区	役職	町内会名	氏名	
高根		留之原	中島 兼一	
		三川	諸屋 宗男	
		上広瀬	酒井 進	
		村山	谷口 正彦	
		糠塚	竹川 健児	
		金桶	坂下 克己	
		瓜巢	菅田 重男	
		名張	垣添 吉孝	
		宇津江	大門 久徳	
		宇津江二区	河戸 三郎	
		宇津江三区	北村 敏男	
		広瀬町	田村 宣和	
	国府		三日町	牛丸 富夫
			蓑輪	渡辺 憲一
			今	木下 秀周
			宮地	駒屋 賢治
			東門前	牛丸 嘉典
		西門前	前田 春夫	
		八日町	横超 是信	
		漆垣内	橋本 和弘	
		桐谷	田中 和幸	
		半田	松本 考司	
		木曾垣内	渡邊 義則	
		鶴巢	田守 良彦	
		山本	村山 吉仁	
		○	田口 一清	
上宝			長倉	井上 昭二
			双六川	吉川 俊明
			見座	松井 誠
		宮原	増井 一三	
		在家	池上 和彦	
		本郷	川幅 浩司	
		吉野	松葉 純尚	
		蔵柱	中嶋 正秋	
		○	上田 修	
	奥飛驒温泉郷		平湯	小林 正和
		福地温泉	坂下 修二	
		一重ヶ根	和田 邦彦	
		村上	水波 清美	
		中尾	瀧澤 隆幸	
		新穂高	水波 博和	
		神坂	舟渡 弘幸	
		栃尾	林 義一	
		高原川	相田 尚司	
		○	福岡 道夫	

平成28年度 町内会長のみなさん (敬称略)

地区	役職	町内会名	氏名
東		宗猷寺町	谷 脇 勳
		天性寺町	三塚 泰俊
		愛宕町	打江 進
		若達町1丁目	瀧上 純一
		若達町2丁目	平田 守
	○	春日町	谷中 幸和
		島川原町	中島 進
		堀端町	志多 昌司
		馬場町	下林 國勝
		吹屋町1丁目	武田 純一
		吹屋町2丁目	杉下 善己
		大門町	下萩 浩明
		鉄砲町	小洞 雅之
	西		下一之町
		下二之町	武川 宏彦
		下三之町	保谷 政典
		桜町	笠原 建二
		八幡町	柏 信之
		大新町1丁目	堂前 義孝
		大新町2丁目	岩腰 茂宣
		大新町3丁目	牧田 重義
		本町2丁目	渡邊 信道
		本町3丁目	赤枝 保明
		本町4丁目	今井 俊治
		有楽町	田口 基晴
		相生町	沖村 道也
		花川町	島光 勝秋
		名田町6丁目	片岡 吉貴
		末広町	奥原富士雄
		朝日町	中山 環
○		七日町1丁目	大澤 正孝
		七日町2丁目	宮部 幸雄
		七日町3丁目	大洞 準次
		神田町1丁目	垣内 俊雄
		神田町2丁目	中屋 利明
		総和町1丁目	北原 康央
		総和町2丁目	南 久典
		初田町1丁目	水谷 智弥
		初田町2丁目	中脇 益實
		花岡町1丁目	鎌村 茂
		昭和町2丁目	長瀬 宏司
南		川原町	白川 良文
		西町	谷 信幸
		本町1丁目	三島 成人
		八軒町1丁目	新井 賢司
		八軒町2丁目	朝田 正樹
		八軒町南	山村 孝司
		名田町4丁目	平塚 武彦
		名田町5丁目	森 好市
		天満町4丁目	平中 正夫

地区	役職	町内会名	氏名	
南		天満町5.6丁目	後藤 富士雄	
		花里町4丁目	松井 隆樹	
		花里町5丁目	清水 一郎	
		花里町6丁目	木戸 脇辰一	
		昭和町1丁目	小池 正郎	
		昭栄町	佐藤 昇	
		上岡本町	橋下 甚一	
		中岡本町	和泉 弘司	
		緑ヶ丘町1丁目	畑中 信一	
		緑ヶ丘町2丁目	蒲 敏夫	
○	松原町	岩田 融		
北		大新町4丁目	田川 幸和	
		大新町5丁目	屋上 千尋	
		総和町3丁目	河村 達雄	
		初田町3丁目	谷腰 康夫	
		花岡町3丁目	宮田 敏彦	
		下岡本町	岩田 省吾	
	○	桐生町	瀬上 直樹	
		本母町	東 隆夫	
		冬頭町	中村 良市	
		松本町	井上 泰文	
山王		有斐ヶ丘町	中垣 昇	
		中山町内会	坂下 正明	
	○	森下町	高野喜代行	
		上神明町	畑川 清二	
		下神明町	阪田 俊二	
		上一之町	日下部達彦	
		上二之町	佐藤 義夫	
		上三之町	渡邊 克則	
		片原町	中野 壽夫	
		片野町	花井 博	
江名子		石浦町	宮田 光雄	
		下江名子町	樋口 義孝	
		上江名子町	田近 幸男	
		山口町	小井戸茂夫	
		桜ヶ丘町	田中 陽維	
		錦町	下垣内康之	
		荏名団地町	稻越 一百	
	○		尾崎 和廣	
	新宮		下林町	井ノ口博幸
			山田町	澤浦 昇平
		夕陽ヶ丘町	中澤 功	
		下之切町	田尻 清一	
		新宮町	直井 学	
		八日町前原町	浦谷 克夫	
		新原山町	不破 貴志	
		新星町	中林 良治	
		自由ヶ丘町	富山 浩成	
○			川原 正巳	

地区	役職	町内会名	氏名
三枝		下切町	建村 和生
		旭ヶ丘町	曾我 守
		中切町	桜本 博幸
		上切町	野内 文雄
		赤保木町	松下 外男
○	見量町	熊谷 晃人	
大八		上野町	伊藤 鈴郎
		松之木町	平野 善之
		大洞町	西 公敏
		漆垣内町	都竹 喜一
		塩屋町	水梨 茂男
		大島町	加藤 茂伸
		天堤町	樋口 英一
		三福寺町	都竹 睦夫
		東山町	藤本 哲夫
		長坂町	野上 均
岩滝		曙町	坂下 修一
		日の出町	船坂 博之
		松之木守ヶ丘町	田口 英司
		下三福寺町	森本 正雄
		東栄町	藤江 久子
		東山台	押手 満弘
	○		都竹俊之助
	○	滝町	瀧根 清司
		生井町	洞口 博幸
		岩井町	大家 誠一
花里		上川原町	長瀬 清雄
		名田町1・2丁目	上杉 輝夫
	○	名田町3丁目	村瀬 祐治
		花里町1丁目	三尾 眞次
		花里町2丁目	田中 実
丹生川		花里町3丁目	中田 貢
		千鳥町	清水 健一
		西之一色町	嶋田 忠夫
		久手	藤本 章
		岩井谷	清水 正夫
		旗鉾	西本 良孝
		曾手	田屋 政雄
		駄吉	谷本 正宏
		日面	大前 誠
		板殿	砂田 正明
新宮		白井	東元 進一
		根方	清水 和也
		小野	谷口 秀一
		大谷	山本 克己
		瓜田	大宮 壽
		法力	岩田 幸一
		北方	大谷 修一
		坊方	佐藤 則男

鄒さん、李さん、ロベルトさんありがとうございます

国際交流員・協力交流研修員が帰国

友好都市である中国雲南省麗江市からの国際交流員・鄒靖云さんと、協力交流研修員・李国荣さん、友好都市ペルー共和国ウルバンバ郡からの協力交流研修員・ロベルト・オーデイス・デ・オルー・ボカソジェルさんが、高山市での任期を終え帰国しました。

市では、平成13年度より中国から国際交流員を招致しており、鄒さんは、市民外国語講座の講師や友好都市の麗江市などとの国際交流業務にご尽力いただきました。

また、李さんは、高山赤十字病院における医療研修を、ロベルトさんは資源リサイクルセンターや商工課、観光課などで研修をされました。

帰国にあたって國島市長から「親善交流大使」を委嘱され、今後とも両市間の友好交流の架け橋として活躍いただくことが期待されます。3人の高山滞在中の感想を紹介します。

鄒靖云さん(国際交流員)

4月8日付けで高山市国際交流員の任務を終えることとなりました。外国語講座受講生をはじめ、市民の皆様に変なお世話になり、勉強させていただきました。この一年間の任期を全うすることができたのは、皆様のサポートがあったからこそです。

高山の友好都市である中国雲南



省麗江市役所に勤めてから、高山との友好交流に関する仕事に携わってきましたが、国際交流員という立場で去年4月に高山に来て、実際に高山の魅力を感じることができました。そして、地元の方々とお会いし、高山という町や市民の皆様に一層親近感を抱きました。

また、友好都市を締結して14年目を迎える中、せっかくですので皆様に麗江市のことを少しでも知っていただきたく、講座やイベントなどを通して、中国の文化や麗江市の事情を紹介させていただきました。

初めての海外勤務であり、また日本語能力が不十分なため「ゲバイテマッタ」ことも多かったですが、うまく伝えられなくて「ハンチクタ

イ」思いも何度かありました。それにもかかわらず、やりがいのある仕事と何よりも暖かい皆様に囲まれて幸せだったと思っております。本当にありがとうございました。

短い間でしたが、「一期一会」という素晴らしい言葉の意味を実感し、かけがえない思い出になりました。元の職場に戻った後も、この一年間の経験を生かし、高山市と麗江市の友好交流の窓口となり、その絆が更に深まっていくために全力を注いでいきたいと思っています。

帰国することが終わりではなく、新たな始まりになると思っています。帰国してもまだまだ皆様と引き続きお付き合いさせていただきたく、これからもどうぞよろしくお願いたします。

元気を発信！市制施行80周年 冠事業

飛驒高山展

高山の食品や工芸品など特産品を展示即売する「飛驒高山展」を開催します。

今回の飛驒高山展では、会期中の5月20日(金)から22日(日)までの3日間、高山の地酒を使った「地酒PR」を展開するなど、新たな取り組みも行います。

ご親戚やお知り合いの方にもぜひご紹介ください。

元気を発信！市制施行80周年 冠事業

飛驒高山展

高山の食品や工芸品など特産品を展示即売する「飛驒高山展」を開催します。

今回の飛驒高山展では、会期中の5月20日(金)から22日(日)までの3日間、高山の地酒を使った「地酒PR」を展開するなど、新たな取り組みも行います。

ご親戚やお知り合いの方にもぜひご紹介ください。

期日 5月19日(木)～25日(水)

時間 午前10時～午後7時(最終日は午後4時まで)

場所 岐阜高島屋(岐阜市)

問合せ先

市産業振興協会
☎35-3144

第44回みどりと親しむ日 松倉山市民ハイキング

6月第1日曜日は高山市の「みどりと親しむ日」であることから、松倉山市民ハイキングを行います。

期日 6月5日(日)

内容 午前7時から11時までの間で、松倉遊歩道から松倉山山頂を歩いた先着240世帯の方に、松倉シンボル広場で苗木を配布します。また、今回は市制施行80周年を



記念し、市の花「コバノミツバツジ」の苗木を80世帯配布します。さらに、参加された方全員に花の種(ヘブンリーブルー)を配布します。

※緑化相談員による苗木や花に関する「緑の相談室」も開設します。

※参加無料、事前申込不要です。

雨天の場合は12日に延期します。12日も雨天の場合は中止し、代わりに午前9時から正午までの間、市役所正面玄関(高山警察署側)にて苗木を無料配布します。

問合せ先

都市整備課
☎35-3176

李国荣さん(協力交流研修員)

光陰矢の如し。高山での研修はあつという間に終わりました。今の気持ちは複雑であり、今まで積み上げた記憶のかけらが頭に浮かんできます。

研修を通して、私の医療知識や技術は格段に向上しました。最も重要なのは視野が広がり、新しい考えを持ったことです。帰国後は、高山赤十字病院で学んだ知識や技術、そしてサービス精神と理念を、母国の医療発展のために生かしていきたいと思えます。母国の地元の人々により良い医療サービスが提供できるように頑張ります。

そして、高山で感じた地元の方々の優しさと思いやりを母国の人々に伝えていきたいと思えます。高山



と麗江の架け橋となり、両市の協力友好交流に自分の力を尽くしたいと思えます。

感謝の気持ち、感動の涙、そして深い愛情を込めて、高山と麗江両市の明日が美しく輝く未来となるようにお祈りいたします。ありがとうございます。

ロベルト・オーデイス・デ・オル・ボカンジェルさん(協力交流研修員)

まずは、高山市での滞在中に多大なるサポートをいただいた、市民の皆様、國島市長、研修先の市職員の皆様に感謝を申し上げます。私は高山市に滞在中、4つの機関で研修を受けました。

最初の部署は、ブランド・海外戦略部です。この部署では、海外からの誘客策に関するプロモーション戦略や、姉妹友好都市との協力体制などについて学ぶことができました。また、2つ目の部署の資源リサイクルセンターでは、環境への配慮をしながらゴミ処理をする方法を学ぶことができました。なお、同センターでの期間中には下水道センターの見学機会も設けていただきましたが、この下水処理に関する研修は最も印象に残るものでした。3つ目の商工課では、中小企業の振興に関する支援策や地場産品のプロ



モーションを学ぶことができましたし、4つ目の観光課では、市の中枢部門の一つとして観光客への多岐に渡る情報提供や、職員の皆さんが連携して実施する観光プロモーションが印象に残りました。この町での滞在は、私にとって忘れがたい経験であり、この町の美しい自然や伝統的な景色を忘れることはないでしょう。食については何を食べても美味しく、飛騨牛だけでなく、地元産の豚肉や野菜、お酒など、大変美味しいものばかりでした。また、食べ物だけでなく、伝統工芸品など、高山で見たものの形、色、仕上がりなどはいずれも美しく魅了されました。今回、ペルーに戻らなければいけないのは大変寂しいですが、高山で学んだ施策や文化等を自国に帰っても生かしたいと考えます。ここに住む皆様の温かさや、行き届いたサービス、高い治安はまるでパラダイスにいるようでした。本当にありがとうございました。

木質バイオマス活用促進補助金制度を改正しました

市では、平成26年3月に策定した「高山市新エネルギービジョン」の目指す姿である「市民誰もが身近で豊かな自然を利用し、自然エネルギーの利用による暮らしの豊かさを実感できるまちづくり」を推進するための取組みのひとつとして、木質バイオマス(ペレット・薪・チップ)を燃料とするストーブやボイラーの導入に対する助成制度を設けています。

これまで助成回数を1回としていましたが、2台目以降の導入も対象にするほか、大型ボイラーの補助率を1/6から1/3に拡大するなど、さらなる普及のため制度改正しました。

住宅用や事務所用をはじめ、農業用ハウスなどの温度管理のための機器(暖房機・温風機)も対象ですので、ぜひこの制度を活用しての導入をご検討ください。

①ペレットストーブ等導入促進補助金

対象者 自ら居住する住宅や自らが活動する施設等に設置しようとする市民、市内事業者等

対象経費 ペレットストーブまたは薪ストーブの本体購入費

助成額 補助対象経費の1/3以内の額 上限10万円

②ペレットボイラー等導入促進補助金

対象者 市内の住宅や施設に設置しようとする市民、市内事業者等

対象経費 ペレットボイラーもしくは薪ボイラー、またはチップボイラーの導入にかかる経費(本体購入経費を含む設備費、工事費)

助成額

・出力40,000kcalを超えるもの
補助対象経費の1/3以内の額 上限500万円

・出力40,000kcal以下のもの
補助対象経費の1/3以内の額 上限30万円

※いずれも市内事業所からの購入、事前の申請が必要です。詳しくはお問い合わせください。

申込 環境政策推進課
問合先 ☎35-3533

新緑のイベント情報



あたたかいご声援をお願いします
第5回飛騨高山ウルトラマラソン
6月12日(日)開催

正宗寺本堂公開と 芍薬寺コンサート

市指定文化財正宗寺本堂の公開にあわせ、尺八演奏や丹生川中学校吹奏楽部による演奏などのコンサートを行います。

期日 5月29日(日)
時間 午後1時30分～3時30分
場所 正宗寺(丹生川町北方)
※事前申込不要、入場無料です。直接会場へお越しください。



問合せ先 正宗寺
☎78-11080

飛騨の里「車田の田植え」

車の輪のように丸く植えていく「車田」の田植えを行います。当日は餅の振る舞いもあります。
日時 5月22日(日)
午前10時～正午
場所 飛騨の里(上岡本町1)
※市民の方は市内在住が確認できるものを窓口で提示すると入館無料です。

問合せ先 飛騨民俗村
☎34-4711

高山陣屋 おもしろ歴史教室

高山陣屋での体験型歴史教室です。歴史の舞台となった現場で、楽しく学習してみませんか。

期日 6月4日～7月2日までの土曜日(6月18日を除く全4回)
※一部日程のみの参加も可
時間 午前10時～正午
場所 高山陣屋(八軒町1)
対象 原則として小学校4年～6年生の児童とその家族
定員 各回20人
参加料 無料

申込方法 5月31日(火)までに
[FAX] 参加希望日、氏名、学校名、学年、住所、電話番号を明記
[TEL] 高山陣屋管理事務所

申込 高山陣屋管理事務所
☎32-0643
FAX 32-0612

2016春 飛騨の味まつり



飛騨3市1村の特産品をはじめ、越前市(福井県)、富山市、蒲郡市(愛知県)などで生産される食品などの展示販売が行われるほか、和太鼓演奏などのアトラクションを予定しています。

また、本町1・2丁目商店街各店舗においても、ご自慢の商品をご用意いただいています。
期日 5月28日(土)～29日(日)
時間 午前9時～午後5時
(29日は午後4時まで)
場所 本町1・2丁目商店街
(当日は歩行者天国)

問合せ先 飛騨地域地場産業振興センター
☎35-0370

城山公園の石碑探訪

城山公園内に設けてある石碑など34件を紹介するパンフレットを作成した記念に探訪ツアーを開催します。高山の偉人を称える石碑にふれて城山公園を散策してみませんか。

期日 5月22日(日)
時間 午前10時～正午

(午前9時45分までに城山公園二之丸管理事務所前に集合)
講師 田中彰さん
(市史編纂専門員)

申込方法 5月20日(金)までに
※少雨決行、参加料無料です。

問合せ先 (財)高山市施設振興公社
☎32-0406

5月20日オープン 乗鞍山麓五色ヶ原の森



市ではより乗鞍岳に近いエリアで平成30年度の開設にむけ新たなコースの準備を進めており、昨年度、「岐阜県清流の国ぎふ森林・環境基金事業」により、横浜国立大学名誉教授の藤原一檜教授に植生調査を行っていただきました。

皆様ぜひ楽しみにしていただくとともに、今年も魅力いっぱいの五色ヶ原の森へぜひお越し下さい。

問合せ先 五色ヶ原の森ツアーセンター
☎79-23344

平成29年度採用 市職員募集 平成28年度(平成29年度採用)高山市職員採用試験について(概要)

【試験区分、採用予定人数および受験資格】

各区分とも国籍および障がいの有無にかかわらず、受験資格に適合する方であれば受験可能です。

試験区分		受験資格		採用予定人数	試験日程	
		年齢要件	資格等要件			
事務	A(大卒程度)	昭和62年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた方	●学校教育法に基づく高校以上の学歴を有する方	6名程度	①	
	技術	昭和51年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた方	次のいずれかに該当する方 ①学校教育法に基づく大学(短期大学を除く)を卒業、または平成29年3月31日までに卒業見込みの方 ②土木施工管理技士(1級または2級)の資格を有する方、または受験資格を有する方	4名程度		
			●学校教育法に基づく大学(短期大学を除く)を卒業、または平成29年3月31日までに卒業見込みの方	1名程度		
			●学校教育法に基づく大学(短期大学を除く)を卒業、または平成29年3月31日までに卒業見込みの方	1名程度		
資格免許	獣医師	昭和41年4月2日以降に生まれた方	●獣医師免許を有する方、または平成29年3月31日までに免許を取得見込みの方で、普通自動車運転免許証を有する方	1名程度		
	保健師	昭和56年4月2日以降に生まれた方	●保健師免許を有する方、または平成29年3月31日までに免許を取得見込みの方	1名程度		
	栄養士		●管理栄養士の免許を有する方、または平成29年に実施される国家試験により免許を取得見込みの方	2名程度		
	保育士		●保育士資格を有する方、または平成29年3月31日までに資格を取得見込みの方	8名程度		
事務	B(高卒程度)	平成7年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方	●学校教育法に基づく高校以上の学歴を有する方、または平成29年3月31日までに高校を卒業見込みの方	2名程度		②
		昭和56年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた方	●学校教育法に基づく高校以上の学歴を有し、民間企業・公務員等における職務経験が通算5年以上の方	2名程度		
	C(高卒程度、身体障がい者)	昭和51年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方	次のすべてに該当する方 ①学校教育法に基づく高校以上の学歴を有する方、または平成29年3月31日までに高校を卒業見込みの方 ②自力により通勤でき、介護者なしに一般事務職として職務の遂行可能な方 ③身体障害者手帳の交付を受けている方 ④活字印刷文による筆記試験および口頭による面接試験に対応できる方	1名程度		

【試験日程等】

	一次試験(予定)	二次試験(予定)	受験申込受付期間
試験日程①	7月2日(土) 7月3日(日)※保育士のみ	8月中旬	5月15日(日)～6月10日(金)
試験日程②	9月17日(土)、18日(日)	10月下旬	8月1日(月)～8月25日(木)

【試験案内、受験申込書の配布】

インフォメーション(本庁1階)、総務課(本庁4階)、各支所地域振興課、市HPで配布

問合先 総務課 ☎35-3133
広報ID 1002515

今年も実施します 夏の軽装「クールビズ」

市では、地球温暖化防止と省エネ対策の一環として、9月30日まで「クールビズ」を実施します。冷房開始を不快指数77以上(設定温度28度を目安)にするため、市庁舎・支所・市の各施設において、ネクタイ・上着なしで執務しますので、ご理解をお願いします。

問合先 総務課 ☎35-3133



募集
します!

誰にもやさしいまちづくり 推進会議委員

誰にもやさしいまちづくりの推進について、調査審議していただく委員を募集します。みなさんのご応募をお待ちしています。

参加資格 満20歳以上で、市に1年以上居住している方
 ※既に委員を経験された方は応募できません。その他参加資格についてはお問い合わせいただくか、市**HP**でご確認ください。

募集人数 1人

申込方法 5月31日(火)までに申込書と小論文(A4判1枚、800字程度)を企画課へ持参・郵送・FAX

小論文のテーマ 「誰にもやさしいまちづくりの課題と今後の展開について」

※応募要項と申込書は市民コーナー(本庁1階)、企画課(本庁4階)、各支所地域振興課にあるほか、市**HP**からもダウンロードできます。

※6月中に選考結果を応募者全員に郵送します。

申込・問合先 企画課 ☎35-3131
 広報ID 1007259



市制施行80周年記念 平塚・上山市民ツアー 参加者募集

友好都市である平塚市(神奈川県)と上山市(山形県)を訪れる市民ツアーの参加者を募集します。

日程(運行:濃飛バス/添乗員同行)

◎7月8日(金) 高山発(午前7時)→御殿場(昼食)→平塚市内(平塚市美術館、平塚八幡宮、湘南ひらつか七夕まつり)【泊】(シングルまたはツイン)

◎7月9日(土) 平塚発→宇都宮(昼食)→上山市(榎下宿、かみのやま温泉)【泊】(和室相部屋)

◎7月10日(日) 上山市(金森清水、果物狩り体験)→喜多方(昼食)→滑川(夕食)→高山着(午後9時30分頃)

※見学地は変更になる場合があります

対象 市民の方 **参加料** 38,000円

定員 40人(超えた場合は抽選) ※最少催行人数20人

申込方法 6月6日(月)までに来店・TEL・FAX(「市民ツアー希望」と明記し、申込者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入)

企画・
申込先

(株)高山エース旅行センター
 〒506-0053 昭和町 2-116-1
 ☎35-0839 FAX34-7535
 ※電話受付は日祝定休・来店申込は水曜日定休

問合先 | 都市提携委員会(市民活動推進課内) ☎35-3412

募集



飛騨高山森の仕事人養成塾 受入林業事業体を募集します

高山市に移住し、林業への就業を志す都市住民を対象とした森林技術者養成事業「飛騨高山森の仕事人養成塾」開催にあたり、実践的な実地研修の場を提供し、最長で3年間、責任をもって研修生を受け入れていただける林業事業体を募集します。

要件 以下の全てを満たす必要があります

- ・市内に本社を置く法人
- ・経験豊富な指導者がいること
- ・研修後は定められた期間、研修生を雇用すること

申込方法 申請書に研修内容等を記載した企画書を添付のうえ、6月15日(水)までに持参・郵送

選定方法 プロポーザル方式により決定します。

研修生への市の支援は…

市は研修生への支援として報償金の支給、住居の支援、車両等の貸与などを行います。なお、今年度は3名の研修生を募集します。

申込・問合先 林務課 ☎35-3143
 広報ID 1007331

第70回全国レクリエーション大会in岐阜プレ大会 第11回 さるぼぼカップin高山2016 出場者募集

○親子ドッジボール教室

日時 6月4日(土) 午前9時~正午

対象 幼児~小学6年生と保護者

持ち物 室内用シューズ

※事前申込不要、参加料無料です。

○ドッジボール大会(日時:6月5日(日)午前9時~午後4時30分)

部門	対象	参加料
一般の部(8人制)	中学生以上	3,000円
小学生(ジュニア)の部(8人制)	小学1~4年生	無料
小学生(オフィシャル)の部(12人制)	小学3~6年生	無料

申込方法 5月25日(火)までにTEL

※場所はいずれもビッグアリーナです。

申込 | 岐阜県ドッジボール協会
 問合先 ☎32-7849

募集

募集

平成28年熊本地震災害義援金にご協力を

募集期間 6月30日(木)まで
市役所本庁や支所、主な市施設に募金箱を設置しています

弁護士による無料法律相談会

申込・問合せ先 福祉課 ☎35-3139
広報ID 1004899

対象 市内在住の方
期日 6月21日(火)
時間 午後1時～4時
場所 市役所(花岡町2)
定員 9人(超えた場合は抽選)
申込方法 6月14日(火)までにTEL



犯罪被害者相談会

問合せ先 ぎふ犯罪被害者支援センター
☎0120-968-783

ぎふ犯罪被害者支援センターによる相談会が開催されます。秘密は厳守されます。
期日 5月25日(水)
時間 午前11時～午後3時まで
場所 市役所(花岡町2)
当日受付 市民活動推進課(本庁3階)
※相談無料、事前申込不要です。

ミセス生活学校 夏物を活かす交換会

問合せ先 生涯学習課
☎35-3155

資源の再利用を目的としてフリーマーケットを開催します。売り上げの一部は福祉活動に役立てます。
期日 5月29日(日)
時間 午前10時～午後2時
場所 市民文化会館4-7(昭和町1)

高齢者社交ダンス教室

申込 市社会福祉協議会
問合せ先 ☎35-0294 FAX34-6736

社交ダンス初級教室を開催します。仲間づくりの輪が広がる人気の高い講座です。
期間 6月7日～7月12日までの毎週火曜日
時間 午後1時30分～3時30分
場所 総合福祉センター(昭和町2)
参加資格 市内在住の60歳以上の方
定員 30人程度
参加料 無料
持ち物 運動のできる服装、底の低い靴またはダンスシューズ、飲み物
申込方法 5月31日(火)までにTEL・FAX

地産地消料理講座

申込・問合せ先 女性青少年会館
☎32-0394 FAX35-2394
Mail: info@takayama-home.jp

飛騨牛と地元で採れた食材を使った料理を作ります。
対象 市内在住・在勤の方
期日 6月16日(木)
時間 午前10時～午後1時
場所 女性青少年会館(花里町1)
定員 20人(超えた場合は抽選)
参加料 1,000円
申込方法 6月2日(木)までに来館・TEL・FAX・MAIL(講座名、氏名、住所、電話番号を明記)

2016夏 飛騨地域就職ガイダンス

申込・問合せ先 商工課 ☎35-3144
広報ID 1002848

来期の新規学卒者(平成29年3月大学・短大・専門学校等卒業)やUIJターン就職希望者、一般求職者を対象とした就職ガイダンスです。
会場では参加企業ごとにブースがあり、企業の事業内容などについて直接話を聞くことができます。
日時 6月1日(水) 午後1時30分～4時
場所 市民文化会館(昭和町1)
※事前申込不要、参加料無料です。直接ご来場ください。

楽しむスポーツ教室 弓道初心者教室

申込・問合せ先 市体育協会 ☎34-3333

弓道の基本動作から順番に説明しますので、初めての方でも楽しむことができます。
期間 6月3日～7月1日までの毎週火・金曜日
時間 昼の部:午前10時～正午 夜の部:午後8時～10時
場所 ビッグアリーナ弓道場(中山町)
対象 市内在住・在勤の方(児童・生徒・学生を除く)
定員 昼の部10人、夜の部15人(超えた場合は抽選) 参加料 1,000円(保険料)
申込方法 5月27日(金)までに窓口TEL

荒城農業体験交流館 体験教室

申込 荒城農業体験交流館
問合せ先 ☎72-1066 FAX72-1067

対象 市内在住・在勤の方 場所 荒城農業体験交流館(国府町八日町)
申込方法 TEL・FAX ※定員を超えた場合は抽選

体験教室名	期日	時間	定員	参加費	申込期限
家庭菜園教室	5月31日(火)	午後1時30分～3時30分	25人	250円	5月27日(金)
	夏に向けての畑の準備と夏野菜について話します				
そば打ち体験教室	6月8日(水)	午後7時～9時30分	15人	1,030円	6月1日(水)

※陶芸教室は随時受付中です!(☎72-3840)

青空市(フリーマーケット) 開催と出店者募集

申込 生涯学習課
問合せ先 ☎35-3155 FAX35-3414
広報ID 1005762

高山生活学校では、衣料品や日用雑貨などの再利用を目的としたフリーマーケットを行います。
期日 5月29日(日) ※雨天中止
時間 午前9時30分～午後2時
場所 市民広場(朝日町)

フリーマーケット出店者募集!

対象 市内在住の方
定員 20人(超えた場合は抽選)
参加料 協力金として1シート(約1坪):300円
申込方法 5月23日(月)までにTEL・FAX・HP(住所、氏名、電話番号、希望シート数を明記)

市有財産(不動産)を売却します

売却物件 国府町広瀬町1094-1 (323.32㎡・1,005万円)ほか
申込方法 申請書、誓約書に必要事項を記入のうえ、住民票と印鑑登録証明書を添えて6月30日(木)までに管財課(本庁4階)に持参・郵送
申請書や申込要領などは市HPからダウンロードできます。

問合せ先 管財課 ☎35-3135
広報ID 1007280



委員会・審議会を公開しています 公開予定の委員会・審議会

開催日	会議名ほか	担当課
5月16日(月)	庁議(幹部会) ◎8:30～ ◎市役所 4階特別会議室	企画課 ☎35-3131
	総合教育会議 ◎10:00～ ◎市役所 地下市民ホール	
5月23日(月)	庁議(幹部会) ◎8:30～ ◎市役所 4階特別会議室	企画課 ☎35-3131
5月24日(火)	まちづくり協議会円卓会議 ◎14:00～ ◎市役所 4階特別会議室	市民活動推進課 ☎35-3412
5月25日(水)	公共交通活性化協議会 ◎13:30～ ◎市役所 2階201・202会議室	都市整備課 ☎35-3176
5月26日(木)	農業委員会 ◎13:30～ ◎丹生川支所 大会議室	農業委員会事務局 ☎35-3141
5月27日(金)	社会教育委員定例会議 ◎15:00～ ◎市役所 3階行政委員会室	生涯学習課 ☎35-3155
5月30日(月)	庁議(幹部会) ◎8:30～ ◎市役所 4階特別会議室	企画課 ☎35-3131

- 傍聴は先着順となります。
- 開催日時や場所が変更となる場合があります。また、議題など詳細についても担当課へお問い合わせください。

岐阜県後期高齢者医療制度 保険料率改定のお知らせ

後期高齢者医療保険料の保険料率は、岐阜県後期高齢者医療広域連合にて2年ごとに見直しがあります。平成28・29年度の保険料率は表のとおりとなります。

これまで保険料の増加率の抑制に努めてきましたが、今回の見直しでは、医療の高度化などで年々増加する医療給付費への対応などのため、保険料率の引き上げが行われることになりました。

一方、より広く低所得者の負担を軽減するため、軽減判定所得の基準額を引き上げ、均等割保険料の軽減対象者を拡大することとなりました。

なお、平成28年度の保険料額およびお支払い方法は、7月にお届けする保険料額決定通知書にてお知らせします。(年額)

区分	平成26年～27年度	平成28年～29年度
均等割額	41,840円	42,690円
所得割率	7.99%	8.55%
賦課限度額	57万円	57万円

※保険料＝「均等割額」＋「所得割額(被保険者の所得×所得割率)」となります。

※所得の少ない世帯の方は、保険料が軽減される場合があります。

問合せ先 | 岐阜県後期高齢者医療広域連合 ☎058-387-6368
市民課 ☎35-3003

マイナンバーカードを交付します

通常、毎月第3土曜日はシステム休止のため、マイナンバーカードの交付を行っていませんが、5月～7月の第3土曜日は交付可能となりますので、交付を希望される方はお越しください。

日時 5月21日(土) 午前9時～正午
6月18日(土) 午前9時～正午
7月16日(土) 午前9時～正午

問合せ先 | 市民課 ☎57-9294

広げよう 地域に根ざした 思いやり

＝毎年5月12日～18日は民生委員・児童委員活動強化週間＝

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱され、常に市民の立場にたって、安心して暮らしやすい地域社会をつくるために活動しています。

それぞれの民生委員・児童委員が担当する地域の中で、生活上の心配ごと相談や福祉サービスを利用するためのお手伝い、高齢者の見守りなどさまざまな活動に取り組んでいます。

民生委員・児童委員の活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

問合せ先 | 福祉課 ☎35-3139

80歳以上で20本以上、健康な歯をお持ちの方へ

8020運動達成者表彰を行います

国や歯科医師会では“80歳になっても自分の歯を20本以上保ちましょう”という「8020運動」を推進しています。飛騨口腔保健協議会では、平成22年度より地域の「8020運動」の達成者を表彰しています。該当される方は、ぜひご応募ください。

対象 本年4月1日現在で80歳以上の方で、20本以上自分の歯がある市内在住者(これまでに表彰を受けられた方を除く)

申込方法 かかりつけの歯科医や最寄りの歯科医、市休日歯科診療所で5月31日(火)までに歯科検診(無料)を受診してください。

※表彰式は7月30日(土)午後2時より、市役所地下市民ホール(花岡町2)で行う予定です。

問合せ先 | 飛騨口腔保健協議会事務局 ☎35-3160
広報ID | 1000462

ご利用ください 市税の休日納付窓口

問合せ先 | 税務課 ☎35-3504
広報ID | 1005841

仕事の都合などにより、市県民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税の平日納付が困難な方を対象に「休日納付窓口」を開設します。

当日は納付に関する相談もお受けしますので、この機会をぜひご利用ください。

日時 5月29日(日) 午前9時～午後4時
場所 税務課(本庁2階・花岡町2)

市税の納付には、便利な口座振替をご利用ください

お知らせ

5月1日現在の人口

総人口	90,234人	(+210)
男	42,953人	(+116)
女	47,281人	(+94)
世帯数	35,303世帯	(+198)

()内は前月比

東日本大震災の義援金

◆みなさまからお寄せいただいた義援金

88,708,105円

(4月30日現在の集計)

◎平成29年3月31日まで延長して、本庁または各支所で受付中です。

ふるさと納税で 飛驒高山を応援してください

飛驒高山ふるさと基金への寄附受付状況
(平成28年1月～4月分)

寄附件数 **1,683件**
寄附金総額 **29,407,000円**

みなさんの「想い・願い」をしっかり受け止め
こころのふるさと飛驒高山のまちづくりに活かします。

市内の空間放射線量率測定結果

健康に影響のないレベルです。

マイクロシーベルト毎時
単位: $\mu\text{Sv/h}$

調査日	調査地点	測定値
4月18日(月)	古い町並	0.104
	奥飛驒温泉郷	0.090
4月4日(月)	古い町並	0.116
	奥飛驒温泉郷	0.094

全国一斉「人権擁護委員の日」特設人権相談所開設 ＝毎年6月1日は人権擁護委員の日です＝

いじめや体罰、差別問題、家庭内や近隣間でのめめごとなど、身近なことで困っていることがあれば、人権擁護委員が相談に応じます。

相談は無料、事前申込不要です。また、秘密は厳守しますので、どなたでもお気軽にご利用ください。

期 日	時 間	場 所
6月1日(水)	午前9時～正午	高根支所(高根町上ケ洞)
	午前10時～午後3時	市役所3階302会議室(花岡町2)
	午前10時～午後3時	荘川福祉センター(荘川町新洲)
	午前10時～正午	上宝支所(上宝町本郷)
	午後1時～4時	丹生川支所(丹生川町坊方)
	午後1時～4時	飛驒位山文化交流館(一之宮町)
	午前1時～4時	こくふ交流センター(国府町広瀬町)
	午後1時～3時	奥飛驒総合文化センター(奥飛驒温泉郷村上)
	午後1時30分～4時	久々野支所(久々野町無数河)
6月10日(金)	午後6時～9時	燦燦朝日館(朝日町万石)
	午前9時～正午	きよみ館(清見支所)

問合せ | 岐阜県地方務局高山支局 ☎32-0915

必ず受けましょう! 狂犬病予防注射

日時 5月22日(日) 午前9時～11時 場所 市保健センター東側(花岡町2)

登録料 3,000円 注射料 3,150円

※つり銭の無いようにご協力ください。

※犬を登録している方は注射料のみ必要です。

持ち物 登録済みの方は市役所から届いたハガキ

◎必ず犬をつかまえておくことができる方が
連れてきてください。

問合せ | 健康推進課 ☎35-3160

市内に流通する東日本17都県産食品の放射性物質検査の結果

放射性セシウムは検出されませんでした(測定下限値未満)。単位: Bq/kg

調査日	産地	品目	測定値
4月19日(火)	長野県	ブナシメジ	検出せず
	千葉県	ダイコン	検出せず
4月12日(火)	群馬県	ウド	検出せず
	静岡県	ミニトマト	検出せず

5月・6月のこよみ

乗鞍岳山開き祭(丹生川町)

5月15日(日) 湯花まつり・絵馬まつり(奥飛驒温泉郷平湯)

リサイクル資源回収(岩滝小PTA)

20日(金) 乗鞍山麓五色ヶ原の森開山祭(丹生川町)

21日(土) リサイクル資源回収(西小PTA、山王小PTA、国府小PTA)

22日(日) リサイクル資源回収(朝日小中PTA合同、栃尾小PTA)

リサイクル資源回収(丹生川小PTA、中山中PTA、東山中PTA)

28日(土) 2016春 飛驒の味まつり(～29日・本町1・2丁目商店街)

29日(日) 野麦峠まつり(高根町)

6月3日(金) 市議会定例会開催

4日(土) リサイクル資源回収(日枝中PTA)

5日(日) 松倉山市民ハイキング

11日(土) リサイクル資源回収(新宮小PTA、清見小PTA)

12日(日) 飛驒高山ウルトラマラソン

【今後の予定】

第57回外国人による日本語弁論大会(6月18日)

リサイクル資源回収(6月18日・北小PTA)

第12回市消防操法大会(6月19日)

戦没者追悼式(6月23日)

主 役は市民のみなさん一人ひとり 飛驒高山文化芸術祭が開幕



「第2回飛驒高山文化芸術祭こだま〜れ2016」のオープニングセレモニーが4月24日、市民文化会館で行われました。

実行委員会会長のおおがやまきとさんによる開会宣言や、高山市民吹奏楽団のファンファーレで華やかに開幕し、高山室内合奏団の弦楽コンサートやみやがわしゅんじさんと菊池桃子さん、國島市長によるトークセッション、高山市民吹奏楽団と飛驒ミュージカル・カンパニーのミュージカルコンサートが行われました。

夢 の競演 春祭と秋祭のからくり屋臺が出そろう



市制施行80周年を記念し、春の山王祭と秋の八幡祭のからくりが披露される「高山祭屋臺からくり競演」が4月30日、高山陣屋前でありました。

春祭の「三番叟」「石橋臺」「龍神臺」と秋祭の「布袋臺」がからくりを披露すると、見物客から大きな拍手がわき起こりました。

また、神楽臺や獅子舞による舞の披露のほか、春の祭屋臺も各屋臺蔵で公開されるなど、14万8千人の人出でにぎわいました。

未 利用間伐材の搬出促進や地域通貨の利活用など NPO法人活エネルギーアカデミーと木の駅プロジェクトに関する連携協定を締結



「高山市とNPO法人活エネルギーアカデミーとの木の駅プロジェクトに関する連携協定」締結式

NPO法人活エネルギーアカデミーと市は5月6日、中間集積所の活用による未利用間伐材の搬出促進や地域通貨の利活用などを図る連携協定を締結しました。

今後、木質バイオマスの安定供給に向けて、NPO法人活エネルギーアカデミーが中間集積所「木の駅」に持ち込まれた間伐材を地域通貨で取り引きし、これらの間伐材を高山市が運行する収集運搬トラック「積まマイカー」により毎週集め、木質ペレット等に加工する事業所に搬入する「木の駅プロジェクト」を推進します。

木質ペレット等に加工する事業者を募集します

間伐材収集運搬トラック「積まマイカー」で運搬してきた間伐材を木質ペレット等に加工し、市内に供給できる市内事業者を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

問合せ先 環境政策推進課 ☎35-3533

守りたい人がいる 守りたいまちがある

シリーズ消防団 No.1

高山支団 支団本部・女性部

高山支団は、高山地域をカバーし、10分団26班団員417名で活動しております。

平成26年夏の豪雨災害では、住民のみなさまや町内会と連携し、管内河川の氾濫や浸水被害を最小限に食い止めました。また、クマ出没による住民広報や豪雪による被害の軽減にも活動しました。

これからもいつ起こるかわからない災害のために、団員は毎月2回の機械器具点検、春季、秋季等の訓練を欠かさず行い、いざという時のために準備を整えています。

毎年1月5日に開催される消防出初式で行う特殊訓練は、170年余りの歴史があり、団員による駆け込みや舞い込みといった勇壮な訓練の披露があります。



西明浩支団長以下支団本部7名、女性部のみなさん

消防団員募集中!

詳しくは消防総務課 (☎ 34-3792) または各支所、最寄りの消防署まで